

# 座談会 平坦地におけるこれからの農業政策

南国市は農業構造改善事業の地域に指定され、1億1千万円にのぼる国の補助のもとに、38年度より基幹作物としての米、集約そ葉、常緑果樹を中心とする大々的な対策事業が実施されるとしている。これが推進のためには排水路の完備、農道整備や区画の整理、里山開拓による農用地の造成、果樹、そ葉の試験地の新設、共同施設の推進など、大幅な農業構造改善が進められる。今曲り角に立つた農業と伝えられる今日この頃、篤農家の人々にお集り願つて今までの体験と、これから先の経営方法について建設的なご意見を聞くと共に、皆さんと共に考えてみたいものです。

## 米作を中心とした

### そ菜果樹酪農など



風景 座談会

### に よ る 業 共 同 経 営 は 可 能

▲現在の共同経営について

○そこで共同経営について

だが、市の平野には適して

いるだろうか。

▲昔のそばくな時代は良質

的な方法で要求されていた

が、現在の資本主義になれ

ば経済面のこともあり、田

植のめいにしても理想とし

ては良いが現実としてはな

かなか問題を引き起こして

いる。

▲共同経営は得手して悪く

なれば別れる時には今まで

仲の良い者同志が感情のも

うことを恐れていたので

▲私は分しゅう林をやって

▲私は分しゅう林をやつ

てはいけない

▲私は分しゅう林をやつ

てはいけない

▲私は分しゅう林をやつ

▲私は分しゅう林をやつ

てはいけない

○最近農業の曲り角といわれ、大規模な農業構造改善事業が強く推進されようとしておりますが、わが南国市が名実ともに田園都市として発展するためには、主産業たる米作は勿論、酪農、そ葉、果樹など解決すべき重要な問題が山積みしており、個々の農家にしましても、いかに経営改善をしていくかと日夜悩みの種であろうと思ひます。そこで農業の先達として活躍される方には、腹産業はどう進むべきでいいのかなど意見を述べたいと存じます。

▲本市農業は十市、三和など海岸地帯の企業的園芸と中央平坦部の水稻二期栽培を中心とした地帯、北部中山間地帯の林業と結びついだ農業の三つに区分されていますが、中央平坦部の農業は米作に加温促成園芸と酪農などを組合さして月

▲本市農業は十市、三和など海岸地帯の企業